

本校3年目となりました校長の〇〇〇〇です。本日はご多用の中、このようにたくさんのご家族の皆様にお集まりいただき、たいへんありがとうございます。お疲れのことと思いますが、もうしばらくお付き合いのほど、よろしく願いいたします。

突然ですが、クイズです。いま、世界の人口は約80億人といわれていますが、「世界で最も歌われている歌」は何だと思いませんか？ 正解は、「ハッピー・バースデー」の歌です。それでは歌ってみますので聴いてください。

【ハッピー・バースデーのメロディーで】

Good morning to you.                      Good morning to you.  
Good morning, dear children.          Good morning to all.

※たくさんの拍手をありがとうございました(^\_^;)

いかがでしたか？ 約130年前に作られた歌ですが、私たちがよく知っている「ハッピー・バースデー」の歌と歌詞が違いますね。この歌はもともと「おはよう」の歌だったのです。私は日頃から学校で一番大きな声で挨拶をするように心がけています。学校に来るまでは「六甲おろし」（阪神タイガースの応援歌）を聴きながら、仕事のことであれやこれやと考えながら車を運転してくるのですが、大きな声で「おはようございます！」と言いながら職員室に入ってくると、モヤモヤした気持ちが吹き飛んでしまいます。そして自分自身のテンションも上がります。ましてや、朝から子供たちと元気よく挨拶を交わすと、「今日も一日がんばるぞ!」という気持ちになります。

保護者の皆様は、朝起きてきたお子様と顔を合わせたときに、元気よく「おはよう!」が言えていますか？ いろんなところで紹介している本「子どもが育つ魔法の言葉」の中には、「親が不安な気持ちで育てると、子供も不安になる」という一説があります。以前、スクール・カウンセラーから依頼をされて学校通信にこんな一説を掲載したことがあります。

『学校でのお子様の様子が心配なのはわかりますが、子供が家に帰ってきたら、「今日はどんな嫌なことがあった？ 友達に何かされなかった？」なんて毎日聞かないでください。毎日聞かれる子供は気分が滅入ってしまいます。ぜひ、「今日はどんな楽しいことがあった？」と聞いてあげてください。それに対してお子様が何も答えられなくてもよいのです。』

保護者の皆様も、ぜひ毎日最高の笑顔でお子様と挨拶を交わしてみてください。きっとお子様も、今日一日元気に過ごそうと気持ちのスイッチが入ると思います。

また、挨拶は円滑な人間関係を築く大切なコミュニケーション・ツールです。保護者同士はもちろんのこと、教師と保護者も挨拶を大切に、同じ子育ての仲間として互いにリスペクトし、よい関係の中で一緒に子育てをしていきたいですね。本校のよさのひとつに、教師と保護者の関係がとてもよいことがあげられます。これからもこの関係を保っていきましょう。

次に学校統合についてお話いたします。旧松井田小、旧臼井小、旧九十九小が閉校し、新しい松井田小が開校して4年目の春を迎えました。そして、この4月から新たに細野小学校をお迎えしたのはご承知の通りです。私は校長として、母校の松井田東中と南中の統合、翌年の松井田北中の受け入れに携わってきました。たくさん保護者や地域の皆様とお話しをする中で、学校がなくなるということは本当に重いことだと受け止めています。だからこそ、今度は新生松井田小学校の校長として、昨年度は両校の子供たちの交流をより一層活発にし、一年後の新たなスタートに備えてきました。先生方にとっては、言ってみれば授業参観のようなイベントが何倍にも増えるわけですから大変なことです。しかし、両校の先生方は子供たちのためにと快く協力をしてくれました。昨日、本校のホームページに昨年11月に行った交流学习の様子をまとめたスライドショーを再公開しました。子供たちのたくさんの笑顔が見られた交流学习であったことがおわかりいただけると思います。

今日で新年度がスタートし3週間が経つところです。休み時間には、校庭いっぱい元気遊ぶ姿が見られます。一方で、昨年までの数時間の交流学习の時と違い、毎日の学校生活ともなると、親も子も戸惑いがあるのが当然だと思っています。学校のスケールがかわれば、これまで当たり前のようにしてもらっていたことがしてもらえなくなることもあります。新たに家庭に協力を求めることもあると思います。しかし、それ以上に子供たちにとって人数が増

えることによるメリットが大きいことも事実です。3年前も、3校の子供たちはそうした苦難を乗り越えて、今ではまるで入学時からずっと一緒に過ごしてきた仲間かのように学校生活を送っています。ぜひ、人を育てるという大きな視野から、物事をプラスに考えてご理解をいただき、焦らずに一步一步前に進んでいけたらと思います。

どんなに環境を整えても、最後は自分の足でしっかり立って、前を向いて歩いて行かなければならないのは子供自身です。親として放任もよくありませんが、心配なあまり干渉し過ぎるのも子供の成長にとってはマイナスです。（当日は話が長くなったのでカットした部分です。→「学年の発達段階にもよりますが、心配なあまり先回りして子供に失敗させないように、親として手を出し過ぎていることはないでしょうか？ 子供は失敗や思い通りにいかない経験から次にどうしたらよいかを自分で、あるいは友達と一緒に考えて行動しようとするものです。それが「学ぶ」ということです。「学び」のないところに「成長」はありません。こうした経験や体験をさせずに育った子供は、自分の気持ちを自分の口で相手に伝えたり、自分自身で気付いて考えて行動しようとしたりすることが苦手な子になってしまいます。ぜひ、お子様の取組の過程を認めてほめていただき、結果にこだわり過ぎず温かく見守ってあげられる懐の広い親でいてください。）6年間でしっかりと自立した子供たちに成長させて中学校に進学させるために、親として教師として子供たちにどう関わるべきかを一緒に考えていきましょう。

いま私なりに子供たちの新たな課題が見えてきたところです。新たに統合を決断した細野小の保護者や地域の方々の気持ちに寄り添いながらも、子供たちの未来を考えた時にはあえて悪役にもなって、指導すべきところはしっかり指導していきたいと覚悟を決めたところです。時には校長としてというよりも、3人の子育ての先輩として、保護者の皆様にもズバリお話させていただくこともあるかもしれません。子供、保護者、我々教師にとって今が踏ん張りどころです。一緒に頑張っていきましょう。

最後に、本年度も自然豊かな松井田町でふるさとに誇りをもち、思いやりあふれ、進んで学習に取り組み、たくましさ身に付けた子供たちを育て、地域から愛される学校づくりを目指して、一年間教職員と力を合わせて子供たちの指導にあたっていきたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

なお、細野小のPTAについては、すでに3月までに組織や活動を閉じてきていただいておりますので、このあとの令和6年度の報告や旧役員挨拶等については、松井田小学校の内容で進めさせていただきますのでご了承ください。